

第20回 運営推進会議議事録

令和8年3月24日

デイサービスセンターみのり

- 1、運営推進会議開催について
 1. 管理者の挨拶

- 2、運営推進会議構成員の紹介

- 3、利用登録状況

- 4、好事例

- 5、レクリエーション実施状況と予定

- 6、研修・会議の実施報告等
(事故・ヒヤリハット苦情報告について)
(満足度アンケート結果)

- 7、評価及びご意見について

- 8、次回のご案内

- 9、閉会の挨拶

1) 第 20 デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催について

日 時：令和 8 年 3 月 24 日 13:30～14:00

場 所：デイサービスセンターみのり

1. 管理者からの挨拶
2. 自己紹介

2) 【運営推進会議構成員出席者】

1. 老人福祉員：1名
2. 利用者代表：1名
3. 大宅地域包括支援センター：1名

【デイサービスセンターみのり関係出席者】

1. 管理者

3) 利用登録者概要

◆ご利用状況とご利用者の特徴

1. 登録者数は同じですが、増回希望の方が増えて登録率が上がっています。
2. ご利用を楽しみにされている方が多く病気や用事以外は、休まれないため稼働率も上がっています。

令和 8 年 3 月 1 日現在

登録者数	19名（現在 94%の登録があり残り 3 枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護 1（5名）要介護 2（7名）要介護 3（5名） 要介護 4（1名）要介護 5（0名）
	要支援 I（0名） 要支援 II（1名）
ご利用登録状況	月（10名）火（9名）水（8名）木（10名）金（10名）

前回令和 7 年 10 月 1 日（前回 6 ヶ月前の状況）

登録者数	19名（現在 90%の登録があり残り 5 枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護 1（4名）要介護 2（8名）要介護 3（5名） 要介護 4（1名）要介護 5（0名）
	要支援 I（0名） 要支援 II（1名）
ご利用登録状況	月（8名）火（10名）水（7名）木（10名）金（10名）

4) ケアの好事例

介護現場における「好事例」を共有する目的は、「個人の成功を組織の資産に変

え、ケアの質と働きやすさを同時に高めること」です。

具体的には、以下の3つの柱に集約されます。

1. ケアの質の向上と標準化
 - 技術共有：特定の職員だけが出来る優れた技術を言語化し、誰でも再現できるようにします。
 - 根拠（エビデンス）の蓄積：「なぜ上手くいったか」を分析することで、勘に頼らない科学的な介護を定着させます。
2. 職員のモチベーションと専門性の向上
 - 成功体験の可視化：良い成果を認め合うことで、職員の自信とやりがい（自己効力感）を高めます。
 - 視点の転換：困難なケースに対しても「工夫すれば改善できる」という前向きな思考（ポジティブ・アプローチ）を養います。
3. 業務効率化とリスク低減
 - 試行錯誤の短縮：他者の成功例を真似ることで、ゼロから対策を考える時間を省き、最短ルートで課題を解決できます。
 - 安全性の確保：身体拘束をせずに安全を保った事例などを学ぶことで、事故防止と尊厳保持の両立を目指します。

好事例の目的は、単なる「自慢」ではなく、「良いケアの型」をチームで共有し、利用者・職員・施設の三者が得をする状態を作ることにあります。

この目的を踏まえて、実際の好事例を一部紹介いたします。

1. ご家族より、「本人が利用に対して怒る事が減り」今まで行ったデイサービスで一番本人に合っているようですと言って頂けた。
 - ◆はじめは、他のデイサービスとの併用利用で、週1回のご利用でしたが、送迎時の時間調整・連絡などやご利用時のこまめな排泄対応などが今まで利用したところと全く違うと言って頂き、他のデイサービスを中止され週3回利用になりました。
中でも排泄回数が多い方で、今までは対応が間に合わずリハパン内に失禁され何枚も必要であったがここに代わってからは、リハパンが減らなくなったと喜ばれておられます。
また、全て移動は職員による歩行介助で行うことや機能訓練が充実していることで歩行状態やADLが良くなったと言って頂きました。

2. 認証症状の影響で入浴拒否が強く受け入れが困難であった方が、毎回入浴をご利用いただけ利用になりました。
 - ◆ご利用開始数ヶ月は、お迎えに行っても「今日は休む」と言われ計画の半分ぐらいのご利用でしたが、毎回ご利用時間の1時間前から電話をかけて説得を続けてからお迎えに行くなどの工夫を続けることでまずは、休まずに来所いただけることを目標にして、来所されたら毎回楽しく過ごして頂くことで、利用したいと思う気持ちになって頂くように努力いたしました。徐々に信頼関係が築かれ職員のことを何でも受け入れて頂けるようになりました。

5) 誕生日会・行事・レクリエーション

【誕生日会実施状況】

(10月3名) (11月2名) (12月0名) (1月2名) (2月0名) (3月1名)

- ・写真入りの色紙にお祝いのおメッセージを添えてお渡し致しました。
- ・皆さんでハッピーバースデーを歌ってお祝い致しました。
- ・他のご利用者からのお祝いのお言葉を頂きました。
- ・みんなに色紙を回して見ていただきました。

【レクリエーション実施状況と予定】

◆ 週替わりで様々なレクリエーションを実施いたしました。

11月 ビワポン/風船玉入れ/★紅葉狩り/すごろく

12月 カップインゴルフ/カレンダー作り/★忘年会(カラオケ・スライドショー・ビンゴ大会など)

1月 ★初詣&坊主めぐり/百人一首/福笑い/カジノゲーム

2月 ボール投げ鬼ゲーム/輪投げ/カレンダー作り/ジェスチャーゲーム

3月 テーブルテニス/運ころがし/みんなでカラオケ/ハカマ・袴・ボン落とし/風船バレー

4月 ★お花見&すごろく/カレンダー作り/カップインゴルフ/箱の中身は何でしょう

※ ★印は、行事や外出レクリエーション

6) 研修・会議の実施報告

【研修報告】

<令和7年8月 虐待防止会議研修>

1. 虐待の事例（報告事例）
2. 身体拘束の事例（報告事例）
3. マニュアル検討

<令和7年9月 介護技術腰痛対策研修>

1. 腰痛予防体操

<令和7年9月 法令遵守研修>

1. コンプライアンス（法令遵守）の重要性

<令和7年10月 ハラスメント防止研修>

1. 介護現場のハラスメント報告事例
カスタマーハラスメント対策

<令和7年11月 非常災害対策訓練（京都市消防局指導による消防訓練）>

1. 通報
2. 初期消火
3. 避難

<令和7年12月 リスクマネジメント研修>

1. リスクマネジメント体制整備の重要性
2. ヒヤリハット検討
3. 事故対応マニュアル検討

<令和8年1月 介護職員入浴介助研修>

1. 困難事例検討

<令和8年2月 キャリアアップ支援研修>

1. 介護従事者のキャリアアップの必要性

<令和8年3月 感染症・コロナ及び食中毒防止研修>

1. 感染症や食中毒の種類や特徴と対策
2. 委員会検討会議

【会議報告】

1. 定例会議（毎月：全員参加）
2. 半年ごとに運営推進会議
3. 不定期の各種マニュアル・指針等の検討会議

<2月 満足度アンケート集計結果>

実施人数：男性3名 女性16名 計19名(入院等の欠席者等を除く)

〔調査内容〕

	満足	普通	不満足	満足度
(%)				
1. ご利用内容	19名			100%
2. 食事内容	19名			100%
3. 送迎	19名			100%
4. 入浴	16名(3名入浴なし)			100%
5. 機能訓練	19名			100%
6. レクリエーション	19名			100%
7. 喫茶	18名(1名喫茶なし)			100%
8. 職員対応	19名			100%

〈アンケートの回答結果から〉

1. 今回で9回連続での全てにおいて満足度100%でした。
2. 今回も個別に聞き取りを行いすべて満足との結果でした。
3. 要因として9割近くのご利用者が同じ方であった。
4. 提供されているサービス内容がご利用者に合っていると感しました。
5. 今回の結果に満足せずより一層良いサービスを提供したいと思います。

〈月別発生件数〉

〔9月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- 昼食の配膳後に利用者様自身から、食前薬について聞かれ、服薬をされていないことに気付いた。

発生原因：配膳前の食前薬の服薬チェックを失念した。

対処内容：食事前であったので直ぐに服用して頂いた。

再発防止：毎回の配膳前チェックを徹底する
職員間での服薬確認を行う

〔10月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- 帰宅後の利用者様からカバンに他の利用者様の上履きが入っていると連絡があった。

発生原因：お帰りの際に履き替えた上履きを入れ間違えた。

対処内容：間違えた別のご利用者様にも連絡し次回にお返しすると伝えた。

再発防止：確実に確認してからカバンに入れる。

〔11月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- 帰りの送迎時に車から降りて頂き、カバンを渡すために車からカバンを取す際に一瞬目を離れたすきに車止めに足を引っかけてひざまづかれた。

発生原因：一人送迎で一瞬目が離れた。

対処内容：直ぐに介助し擦り傷程度であったため歩行など問題もなく、お住まいの施設に報告をして絆創膏を貼って頂いた。

再発防止：一人送迎であるが、十分に注意して介助する。

〔12月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- 四肢麻痺の方をソファから車椅子へ移乗の際に膝オレになり支えきれずゆっくり座りこまれた。

発生原因：移乗の際に左足が突っ張り身体の向きを変えることが出来なかった。

対処内容：直ぐに前後から二人介助で車椅子に座って頂いた。確認したが怪我など異常は見当たらなかった。

再発防止：左足を前に出して頂くように声掛けを行いながら、体調や状態に合わせて二人介助も取り入れる。

< 今回の運営推進会議についてご評価及びご感想よろしくお願いたします。 >

【大宅包括】

- ・外出レクは、ご利用者の活気につながると思います。
- ・一人一人しっかりケアをすることで好事例に繋がっているのが、好印象です。
- ・ヒヤリハットについても細かいことを隠さずに、事故につながる前に皆で共有し話し合っていることが素晴らしいと思います。

【老人福祉員】

- ・ご利用者だけではなくご家族からも好印象であることが素晴らしいことだと思います。

【ご利用者】

- ・いつも親切にして頂いているので、安心して利用できます。これからもよろしくお願いたします。

【管理者】

- ・ご意見・ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします

※ 次回の第21回運営推進会議は、令和8年10月頃を予定しております。
今後ともご協力宜しくお願致します。

◆ 管理者より閉会の挨拶